

歯周病罹患率80%を  
歯科衛生士の私たちが  
変えていく!

Goodbye Perio Project

DH  
インタビュー

広島県

04 | Goodbye Perio プロジェクト

# 私たちは予防のプロ。 自分自身が主体となって 動くべきだと思うんです

三好早苗さん / 臨床歴 16年

先日広島県では、Goodbye Perio プロジェクトメンバー7人によるエリアミーティング<sup>※</sup>が開かれました。中心となったのは、以前から学校など地域の人たちに向けて保健指導を行なっている三好早苗さん。メンバー同士の交流には、一緒に活動する仲間が増える以上に大きな意味があるといいます。エリアミーティングを終えた直後の三好さんにお話をうかがいました。



※同じ地域で活動するGoodbye Perioメンバー同士、声をかけ合って自主的に開催。情報交換やイベントの企画を行なっています。これまでに名古屋や大阪でも行なわれました。詳しくはGoodbye PerioプロジェクトのFacebookファンページをご覧ください。

{ 三好さんのこれまでの活動をメンバーに紹介 }

{ 左上 根本瑠美さん、新谷恵子さん、村川善子さん、隅田知美さん。  
左下 三好早苗さん、中川智子さん、鎌田清子さん。 }



1人から3人、3人から7人へ。  
同じ志を持つ仲間が集結!

地域内で活動するきっかけとなったのは、メンバー向けに配布された『Goodbye Perioプロジェクト活動報告書』です。私が地域の高校で啓蒙活動をした様子が掲載され、それを知った一人がフェイスブックを通じて連絡をくれたんです。どうやって高校に打診したんですか?」って。すぐに、その方のお友達の歯科衛生士を含め3人で会うことになりました。

3人の食事会では私自身が今までやってきた保健指導のことを紹介したり、お二人の歯科医院での様子を聞いたり。同じ歯科衛生士でも立場が少しずつ違うので、興味深かったですね。話が弾んで、今後の活動についての新しいアイデアも自然と出てきました。「産婦人科の健康教室はどう?」「公民館の育児サークルでもできるよね」「たしかあそこで毎年イベントがあったはず」って。私自身できることはまだまだあるんだと気づかれました。

3人での食事会をフェイスブックにアップすると、「次は私も参加したい」と次々にコメントが! 最終的に7人で第1回目の「広島エリアミーティング」を開くことになったんです。

メンバーとの交流が、  
より精力的に活動するエネルギーに

もちろん、同じ広島県で頑張る歯科衛生士同士が集まるのは楽しみでした。でも本来の目的は、「歯周病罹患率を下げることで、国の医療費の削減に貢献していくこと」。ただ集まってワイワイやるだけでは意味がないと思うんです。ミーティングではまず、目的をしっかりと共有しました。そして「私たちは一人ひとりが主役だ」という意識を持って、院内・院外で積極的に歯周病予防の方法を伝えていこう!」と確かめ合っただけです。

一人ひとりが普段やっていることを共有するなかで、「予防のプロとしてやるべきことをやろう」と全員が使命感を持っていることがわかり、胸が熱くなりました。他のメンバーもみんな同じ気持ちに

なっただと思います。

もともと Goodbye Perio プロジェクトのメンバーになったのは、「歯科衛生士が主体となって活動する」という点に魅力を感じたからです。今後も自分のスキルを磨きつつ、歯周病予防の方法を精一杯伝えていきたいですね。ミーティングは私にとって、精力的に活動するためのエネルギーを蓄える場です!



参加メンバーからの  
コメント

1 一人ひとりの熱い想いを知り、広島県のメンバーならではの強みだと感じました。フロスに関する知識を共有できたこともよかったですね。次の活動に活かそうぞうです!

中川智子さん

2 みなさんにお会いして、今後の活動では何を準備すればいいか具体的にイメージできました。自分なりに精一杯動こうと思います。

新谷恵子さん

自分の地域の歯科衛生士たちとつながれる!  
それがGoodbye Perioプロジェクトです。

「歯周病予防をもっと広めたい!」そんな想いを持った歯科衛生士が集まるこのプロジェクト。地域ごとのミーティングも活発化! 一緒にイベントを企画するなかで、強い絆が生まれています。

メンバーの取り組みは、Facebookのファンページで紹介しています⇒

ぜひあなたもメンバーに!  
登録は

<http://perio.tuftclub.jp>  
または  
同封のお申し込み用紙で

Goodbye Perio で検索!